



当プレスニューズレターでは、東京文化発信プロジェクトの多様な事業を、さまざまな切り口からご紹介しています。

平成 22 年 9 月 27 日  
東京文化発信プロジェクト室  
(公益財団法人東京都歴史文化財団)

CLOSE UP  
INTERVIEW

『ミュージック・ウィークス・イン・トーキョー2010』プロデューサー・インタビュー

## 合唱の頂点を目指し、世界へと発信する “スーパー・コーラス・トーキョー”の魅力

今年度の「東京文化発信プロジェクト」の新規事業の一つ、“声”をテーマとするクラシック音楽の祭典『ミュージック・ウィークス・イン・トーキョー2010』が始動した。世界的な合唱指揮者ロベルト・ガッビアーニ氏のもと“スーパー・コーラス・トーキョー”を結成。9月に開催したお披露目イベントも好評を博した。プロデューサーの一人、西巻正史さんにお話を伺った。

### 音楽の原点である“声”で 世界に誇れる表現を

“スーパー・コーラス・トーキョー”のお披露目イベントが開催されたのは9月3日。ロベルト・ガッビアーニ氏が指揮する混声四部合唱に、会場のめぐろパーシモンホールは大いに沸いた。声による表現の幅広さを再認識した観客も多かったことだろう。プロジェクトを進める中で、なぜ“声”をテーマとしたのだろうか。

「現代の音楽は、西洋音楽との出会いの歴史から生まれたものです。しかし、近年はクラシック離れも進んでいる。もっとクラシックに親しんでもらいたい。そう考える中で、音楽の原点である“声”に着目したわけです」と西巻さん。企画を担うプロデューサーズチームの一員だ。

「これを検討するうち、東京ならではのものとして合唱案が浮上しました。小学校の授業や部活からママさんコーラスまで、一般の人々にこれほど合唱が行き渡り、グループも多いのは世界でも東京だけ。北欧なども盛んですが、都市が小さいため人数も少ないんですね」

世界に誇れる合唱に取り組み、東京の文化として発信していこう——。そこから、トップレベルの合唱団を新しく作るという、一大プロジェクトがスタートを切った。

### イタリアのカリスマ合唱指揮者 ガッビアーニ氏に指導を依頼

「目指すのは、ハイレベルの合唱。そのためには、これまで日本では指導をするのが稀な世界屈指の指揮者を招き、どこまで頂点に近づけるか挑戦したい。そこで依頼したのがロベルト・ガッビアーニ氏です」

ガッビアーニ氏はフィレンツェ歌劇場、ミラノ・スカラ座、トリノ歌劇場などの合唱指揮を歴任し、巨匠リッカルド・ムーティからも絶大な信頼を得ているカリスマ指揮者だ。2006年の「東京のオペラの森」でも、ヴェルディ曲の指揮を打診されたムーティは、ガッビアーニ氏の合唱指揮を来日条件としたそうだ。

「そこで耳にしたのは、これまでに聴いたことのないような合唱、声の表現。指揮者の指導によって、ここまで合唱の表現の可能性が広がるのかと改めて驚きました」

新しい合唱団で取り組む曲は、ヴェルディの『レクイエム』と決めていた。ドラマチックでメリハリに富み、喜怒哀楽の表現も豊か。日本人によく知られ、人気もある。

「ガッビアーニ氏はヴェルディと同じイタリア人であり、ヴェルディ曲の経験も豊富です。その指導から受けるものは大きいだろうと判断しました」

【P2に続く】

### にしまさ まさし 西巻正史

『ミュージック・ウィークス・イン・トーキョー2010』プロデューサーズチームの一員。スパイラルホール企画部門、水戸芸術館音楽部門制作責任者等を経て、現在はトッパンホール企画制作部長。クラシック音楽の浸透を目指し、さまざまな企画を手がけている。また、東京芸術文化評議会専門委員でもある。



依頼を快諾したガッビアーニ氏による一文がある。

——指揮者が新しい合唱団の誕生に携わる目的で招待されたならば、思わぬ発見の喜びや、新しい命の誕生に立ち会う幸福のような、きわめて貴重な魅力を持った視野が開けてきます。私はこの仕事へのお誘いを受けた時、私のすべての経験とエネルギーを注ぎ込み、プロジェクトを最良の形で成功させたいと考えました。(お披露目イベントプログラムより抜粋)

氏は、合唱メンバーの選考から真摯に関わった。

## 精鋭によるハイレベルの 合唱を発信

“スーパー・コーラス・トーキョー”の最大の特徴として、“参加性”が挙げられる。メンバーは一般公募による選考を経た精鋭と、プロ合唱団からの選り抜きだ。東京に広く行き渡る合唱文化の中、密かに腕を磨き、機会を待つ人もいだろう。公募は、そんな埋もれた才能を発掘しようという試みでもある。

「さまざまな才能をかけ合わせることで起きる化学反応に期待したわけです」

ガッビアーニ氏は、3日間のオーディションに立ち会い、一人ひとりの歌を聴いた。アマチュアでもOK。だがクオリティはプロ相当であるのが大前提だ。その上で、歌の解釈や表現の引き出しの多さが審査された。

7月のメンバー決定以後、氏の指導は今も続いている。

「ラテン語の解釈、声の出し方、心の持ち方など、ヴェルディを歌うために必要なものは何かを伝え、その引き出し方を教えていく。そして、全員がそれを共有することでひとつの作品を作っていくやり方です。ガッビアーニ氏には、非常に献身的に取り組んでいただいています」

9月のお披露目イベントでは、『レクイエム』の前段階としてガッビアーニ氏が選んだヴェルディ曲『スターバト・マーテル』『テ・デウム』など7曲を披露。

「ハードルの高い曲ばかりでしたが、短期間の練習にもかかわらず、よくまとまったと思います」

『レクイエム』の公演は10月。4名の世界的ソリストを招き、ベルリン・フィルでも客演した気鋭の指揮者イオン・マリンが東京都交響楽団の指揮をとる。

「海外の指揮者やソリストを招くのは、彼らを通して発信するためです。東京に合唱団ができて一緒に公演したことを、さまざまな場で話してもらえれば、“スーパー・コーラス・トーキョー”の存在は世界に伝わります」

今、東京には、海外のトップレベルの音楽家が訪れ、



9月3日に行われたお披露目イベントの様子。

©スタジオO2

私たちはその歌や演奏を聴ける。皆、耳は肥えているし、ポテンシャルも高い。

「ハイクオリティな音楽芸術を創造し、発信していくだけの能力と土壌は十分にあります」と西巻さんは期待する。10月の公演は、そこに向けての大きな一歩だ。

## 9月のお披露目イベントに参加した歌手から一言

### 10年ぶりに合唱に復帰しました。 柳元さん(ソプラノ)

音大時代にコーラスを始め、卒業後もイタリアで学んでプロとして歌っていました。けれども歌から離れて10年以上。2歳の子もいて迷いましたが、大ファンだったガッビアーニ先生の指導に惹かれ、ギリギリで応募しました。オーディションに合格できたのは、国によって歌い方が違う中、イタリアで求められているものを想像できたのがよかったのかもしれない。心情の表現を中心にした先生の指導は、とても勉強になります。

### ゴスペルからのチャレンジです！ 有馬さん(ソプラノ)

音大を出た後、アメリカの大学でミュージカルの勉強をし、帰国後はゴスペルを歌っています。テレビで募集を知り、巨匠であるガッビアーニさんに世界最高峰の合唱を習いたい、そしてサントリーホールで歌いたいという強い思いで応募しました。ゴスペルとクラシックは全く違うので、歌い方を変えて練習しましたが、難しかったですね。レベルの高い応募者が集まった中、メンバーとして選ばれたのは誇り。10月の公演が楽しみです。

## ●公演概要

### Music Weeks in TOKYO 2010

#### 『ヴェルディ：レクイエム』

#### “スーパー・コーラス・トーキョー”

#### デビューコンサート

日程・会場／10月9日(土) 東京国際フォーラム ホールC

11日(月・祝) パルテノン多摩 大ホール

13日(水) サントリーホール 大ホール

曲目／G.ヴェルディ『レクイエム』

指揮／イオン・マリン

ソリスト／ヴィクトリア・ヤストレボヴァ(ソプラノ)、藤村実穂子(メゾソプラノ)、マリウス・ブレンチウ(テノール)、ロベルト・スカンディウツィ(バス)

合唱指揮／ロベルト・ガッビアーニ

管弦楽／東京都交響楽団



## 東京の外国人が見る“東京文化”

今年度は、東京都の姉妹友好都市のある国の方々にお話を伺っていきます。

# 日豪のコラボレーション、 文化による“草の根交流”を広めたい

今回お話を伺ったのは、10代の頃から日本に関心を持ち、現在はオーストラリア大使館の広報・文化参事官を務めるナンシー・ゴードンさん。ご自身の東京文化の楽しみ方や、独自の移民文化を築いてきた母国の文化事情をお聞きました。



Nancy Gordon  
ナンシー・ゴードン

オーストラリア大使館 広報・文化参事官。  
シドニー大学日本語学科を卒業後、朝日新聞社  
シドニー支局に勤務。その後、外務貿易省へ。  
4年間の中国赴任を経て、2008年1月より現職。

### モダンな文化の溢れる都市・東京

——日本語がとても流暢でいらっしゃいますが、いつ来日されたのですか？

まだまだ勉強中なので、そう言っていただくと嬉しいです。現職に就くために来日したのは2008年の1月ですが、それ以前にも2度、日本に留学していました。高校卒業後にワーキングホリデー制度を利用して初めて来日した時は、日本語はゼロからのスタートだったんですよ。その後、シドニー大学の日本語学科に進学し、交換留学生として早稲田大学でも2年間学びました。

——そのようなバックグラウンドをお持ちだと、東京のイメージも様々でしょうね。

学生の頃、日本へ来る前に描いていたイメージは、それこそ能や歌舞伎のような伝統文化。小学校の授業で折り紙や俳句にふれる機会があり、そのイメージが全てでした。

今、あらためて日本に暮らしてみると、アジアの中でも東京はとてもモダンな都市です。国立新美術館やスカイツリーなどの建築デザインがそうですし、新しい歌舞伎座も伝統スタイルを残しながらどう生まれ変わるのかが楽しみ。また、マンガやコスプレ、ゲームも東京らしい現代的な文化ですね。その一方で、着物や日本料理のような伝統的な文化が、現代生活の中でも見られるというのは素晴らしいですね。しかも古いものを単に維持するだけでなく、ものによっては現代的なアレンジを加えて維持していることは、他の都市と比べても東京ならではの魅力だと思います。

——普段は、どのように東京文化を楽しんでいますか？

観たいと思うほど実際は観ていないのですが、それでも時間のある時は歌舞伎を観たり、美術館などの文化施設へ行っています。中でも江戸東京博物館はディスプレイが素晴らしいですし、外国人にもわかりやすい解説ですね。

それに、東京のお祭りや公園も大好き。近所で行われる麻布十番のお祭りに子供を連れて出掛けてみたり、吉祥寺は街並みも好きなので、子供を井の頭公園で遊ばせて、そのあとで街をぶらぶらと歩くことも多いです。

### 文化で日豪の相互理解を深める

——オーストラリア文化の最たる特徴は何でしょうか？

オーストラリアは、4～6万年前から続く先住民の文化と、ヨーロッパやアジアの様々な国からの移民がもたらした文化で成り立つ国ですから、伝統的なものと新しい文化の“融合”が一番の特徴でしょう。「マルチカルチュラルイズム（多文化主義）」といいますが、多様な文化を国としてうまく融合できていることが大きな特色だと思います。

先住民の文化でいえば、アボリジニーのダンスを前衛的な振り付けで見せるバンガラダンス・シアターや、今は亡きエミリー・カーメ・ウングワレーの絵画は、国内外で高い評価を得ています。一方で、クラシックのオーケストラやバレエも大変人気があります。10月に来日するオーストラリア・バレエ団は、古典名作の『白鳥の湖』と『くるみ割り人形』を東京文化会館で上演しますが、演出がとてもユニーク。オーストラリア人の振付家、グレアム・マーフィーが物語の舞台を1950年代のメルボルンに置き換えるなど、オーストラリア的な解釈がとても斬新で面白いですよ。

——グローバル化する世界の中で固有の文化を発信する意義についてどう思われますか？

やはり、相互理解を深めるために文化発信は必要です。“豊かな生活”に文化は欠かせませんし、ジャンルの好みには違いはあるにせよ、人々に関心を持ってもらいたいものです。既にオーストラリアでは「トーキョー・ワンダー・サイト」ともアーティスト・イン・レジデンスの交換プログラムを実施しており、今後も両国のアーティストが共同で作品を作るような“草の根交流”が増えたら素晴らしいですね。

オーストラリア・バレエ団  
『白鳥の湖』10月9日(土)～11日(月・祝)  
『くるみ割り人形』10月15日(金)～17日(日)  
会場：東京文化会館  
お問い合わせ先：オーストラリア大使館 カルチャーセンター  
<http://arts.australia.or.jp>

※「東京文化発信プロジェクト」では、『白鳥の湖』のゲネプロを公開する『東京文化会館 青少年のための舞台芸術体験プログラム』を10月8日(金)に開催します。事業予定カレンダー(P5)をご参照ください。

# EVENT PICK UP

イベントピックアップ

FESTIVAL

東京発・伝統WA感動  
東京大茶会2010

## 秋空の下で茶の湯にふれる。 4日間の茶会イベント

現代まで脈々と受け継がれている茶の湯文化に親しむイベントとして、毎年多くの参加者で賑わう『東京大茶会』。今年も10月に江戸東京たてもの園、浜離宮恩賜庭園を会場に行われます。

当日は、茶道が初めての人や、海外からの観光客が気軽に参加できる、趣向を凝らしたプログラムを用意。由緒ある建物の中で行われる伝統的な茶席(事前申込制)を始めとして、園内の風景を楽しみながらお茶をいただく野点や、英語の解説が付く「イングリッシュ野点」(浜離宮恩賜庭園のみ)がラインナップされています。また、親子で参加できる茶道教室「子供茶道体験」では、お茶の世界やおもてなしの心の大切さをわかりやすく解説します。

●江戸東京たてもの園  
開催日/平成22年10月10日(日)、  
11日(月・祝)  
時間/10:00~15:30  
(開園時間/9:30~16:30)

●浜離宮恩賜庭園  
開催日/平成22年10月16日(土)、  
17日(日)  
時間/9:30~16:00  
(開園時間/9:00~17:00)  
※茶席の事前申込は終了しました。



FESTIVAL

東京発・伝統WA感動  
ワークショップ「邦楽ワンダーランド！」

## 本物の邦楽に触れる、親しむ。 夏休みの親子連れで盛況

8月20日~22日、邦楽の多様な魅力に触れるワークショップ「邦楽ワンダーランド！」が、今年7月にオープンした水天宮ビッド(中央区)にて開催されました。開催期間の3日間で、ライブやミニコンサート、ワークショップの延べ来場者数は2,274人。夏休み中ということもあり、たくさんの子供たちが参加していました。

第一線の演奏家の手ほどきで、邦楽の演奏や唄・語りを体験するワークショップは、順番待ちの長い列ができるなど大人気。囃子のワークショップで笛に挑戦した小学校4年生の女の子は、「日本の笛を吹くのは初めて。音を出すのが難しかった」との感想。学校で吹奏楽を習っており、伝統楽器にも興味を持ったそうです。

3日目(22日)には、楽器づくりが見学できる自由研究コーナーも



設置。職人による琵琶と三味線づくりを実際に見た子供たちは「琵琶は何の木で作られているの?」「三味線には本物の猫の皮を使うのですか?」などの質問をしながら熱心に見入っていました。

ARTPOINT

東京アートポイント計画  
墨東まち見世2010

## 今注目の墨東エリアで 町と暮らしの魅力を再発見

昭和の街並みを今なお残す墨東エリアは、東京スカイツリーの建設などによって新しい様相を見せ始めています。昨年始まった地域アートプロジェクト『墨東まち見世』は、同エリアの魅力を町と暮らしの視点で掘り下げて伝えると共に、地元の文化活動の活性化を目指しています。

今年はずでに長島確氏の通年演劇プロジェクト「墨田区在住アトレウス家」、アートと地域の関係を考えるトーク・プログラム「墨東まち見世塾」がスタート。10月から始まるメイン会期には、同エリアを活動拠点とするアーティストや団体による「ネットワークプロジェクト」や、複数のテーマで町を探索する「墨東まち見世さんぽ」など多彩なプログラムが登場します。点在するアートを巡るうちに、墨東エリアの新たな魅力を発見できることでしょう。



メイン会期/平成22年10月2日(土)~  
11月23日(火・祝)の主に金・土・日・祝日  
会場/主に曳舟・京島・東向島・  
八広・押上エリア  
[www.machimise.net](http://www.machimise.net)

KIDS

パフォーマンスキッズ・トーキョー

## 不思議で楽しい 動きと音と光のパフォーマンス

プロのアーティストと子供たちとでオリジナル舞台作品を作るプログラム。ダンス・アーティストで体奏家の、新井英夫さんのワークショップに伺いました。

15人の子供たちが、鈴、太鼓、ドラ、民族楽器など約20種類もの音に合わせて、生活の中にある身の回りのものを使いながら身体をいっぱい動かしていきます。

トイレトペーパーを破りながら踊る“フリフリダンス”は迫力満点。輪になって段ボールを叩く“ジャングルバンド”は、一人が呼びかけたりリズムに皆が呼応、次々とリズムが入れ替わり、音で会話をしているよう。ハイライトは懐中電灯を使って暗闇に絵を描く“光のダンス”。思い思いの動きがスクリーンに光の軌跡となって浮かび上がります。「ばらばらとまとまりの間の感じを出したいんです」と新井さん。「決めごとのないところでどれ



だけ楽しめるか。自分を、他人を、何かを、“面白い!”と思う心こそが、生きる力でありコミュニケーション力のもと。それが子供たちに伝われば」と思いを語っていました。

# 事業予定カレンダー 10月～11月 Program Calendar Oct.-Nov.

	10月	11月	
フェスティバル FESTIVAL	<p><b>アジア音楽祭 2010 in 東京</b> Asian Music Festival 2010 in Tokyo</p> <p>10/1～6 東京藝術大学ほか Oct.1-6 Tokyo University of the Arts, etc.</p>	<p><b>東京発・伝統WA感動 東京大茶会 2010</b> Tokyo Grand Tea Ceremony 2010</p> <p>10/10, 11 江戸東京たてもの園 10/16, 17 浜離宮恩賜庭園</p> <p>Oct.10-11 Edo-Tokyo Open Air Architectural Museum Oct.16-17 Hama Rikyu Gardens</p>	<p><b>芸術監督セレクション</b> Artistic Director's Selection</p> <p>11/11～14 「The Blue Dragon (ブルードラゴン)」 東京芸術劇場</p> <p>Nov.11-14 "The Blue Dragon" Tokyo Metropolitan Art Space</p>
	<p><b>ミュージック・ウィークス・イン・トーキョー 2010</b> Music Weeks in TOKYO 2010</p> <p>【"スーパー・コーラス・トーキョー"デビューコンサート】 10/9 東京国際フォーラム、10/11 パルテノン多摩、 10/13 サントリーホール</p> <p>[Super Chorus TOKYO debut concert] Oct.9,11,13 Tokyo International Forum, Parthenon Tama, Suntory Hall</p>	<p><b>東京都交響楽団ハーモニーツアー</b> Tokyo Metropolitan Symphony Orchestra Harmony Tour</p> <p>11/6～12 ベトナム公演 (ハノイ・ホーチミン)</p> <p>Nov.6-12 Hanoi and Ho-Chi-Minh City, Vietnam</p>	<p><b>Trans-Cool TOKYO</b> Contemporary Japanese Art from MOT Collection</p> <p>11/19～1/17 シンガポール美術館 Nov.19-Jan.17 Singapore Art Museum</p>
	<p><b>東京発・伝統WA感動 伝統芸能公演</b> Tokyo Traditional Arts Program</p> <p>10/9 「東京・江戸の賑わいその2 芝居と語り芸一庶民の娯楽」/国立劇場</p> <p>Oct.9 Japanese Folk Performance "Life and Festivals of Tokyo / Edo Part 2 Playacting and Storytelling -Entertainment of Ordinary People-" / National Theatre</p>	<p><b>フェスティバル/トーキョー 10</b> Festival/Tokyo10</p> <p>10/30～11/28 東京芸術劇場、あうるすぽっと、にしすがも創造舎、シアターグリーン、 自由学園明日館 ほか</p> <p>Oct.30-Nov.28 Tokyo Metropolitan Art Space, Owlspot Theater, Nishi-Sugamo Arts Factory, Theater Green, Jiyu Gakuen Myonichikan and others</p>	<p><b>東京アートミーティング トランスフォーメーション</b> Tokyo Art Meeting "Transformation"</p> <p>10/29-1/30 東京都現代美術館、東京藝術大学</p> <p>Oct.29-Jan.30 Museum of Contemporary Art Tokyo, Tokyo University of the Arts</p>
キッズ KIDS	<p><b>東京文化会館 青少年のための舞台芸術体験プログラム</b> Tokyo Bunka Kalkan Open Rehearsal for Students</p> <p>10/8 オーストラリア・バレエ団「白鳥の湖」、 10/18 東京都交響楽団 第704回定期演奏会</p> <p>Oct.8 "Swan Lake" by The Australian Ballet Oct.18 Subscription Concert No.704 by Tokyo Metropolitan Symphony Orchestra</p>	<p><b>パフォーマンスキッズ・トーキョー</b> Performance Kids Tokyo</p> <p>パルテノン多摩・ワークショップ 10/30～11/21の期間内の9日間、 発表 11/23</p> <p>Oct.- Nov. / Parthenon Tama</p>	
	<p><b>東京発・伝統WA感動 キッズ伝統芸能体験</b> Traditional Performing Arts for Kids</p> <p>9月～3月 お稽古/都内8カ所</p> <p>Sep.-Mar. Lessons in 8 places in Tokyo</p>		
アートポイント ARTPOINT	<p><b>墨東まち見世 2010</b> BOKUTO MACHIMISE 2010</p> <p>10/2～11/23 (主に金・土・日・祝) 墨東エリア (主に曳舟・京島・東向島・八広・押上)</p> <p>Oct.2-Nov.23 Bokuto area (Hikifune, Kyojima, Higashimukojima, Yahiro and Oshiage area)</p>		
	<p><b>川俣正・東京インプログレス</b> Kawamata Tadashi Tokyo in Progress</p> <p>10月～3月 都立汐入公園エリア 10/31, 11/14, 11/28 「つくるワークショップ」 10/30, 11/14, 11/27 「美術制作技術者(アートコンストラクター)講習会」</p> <p>Oct.-Mar. Metropolitan Shioiri Park etc. Oct.31, Nov.14,28 Tower Creation Workshop Oct.30, Nov.14,27 Art Constructor Course</p>		
	<p><b>イザ!カエルキャラバン! in 東京</b> IZA! Kaeru Caravan! in Tokyo</p> <p>10/3 墨田区立第一寺島小学校、10/17 墨田区立登川中学校、10/23 千代田区役所、11/14 調布市立上ノ原小学校</p> <p>Oct.3,17,23 Nov.14 Schools in Sumida Ward and Chofu City, Chiyoda Ward office</p>	<p><b>TERATOTERA</b></p> <p>11/23 途中下車の旅/都立善福寺公園</p> <p>Nov.23 Stopover Tour/Zenpukuji park</p>	
	<p><b>アーティスト・イン・児童館</b> Artists in Jidokan</p> <p>10/13, 11/27 「オープン・ミーティングシリーズ2010」/中村児童館 10/17, 11/13 (予定) 「ことばのかたち工房」/東大泉児童館ほか</p> <p>Oct.13, Nov.27 Open Meeting Series 2010/Nakamura Children's Hall Oct.17, Nov.13(temp.)Form of Words Workshop/Higashioizumi Children's Hall etc.</p>		
	<p><b>岸井大輔プロジェクト「東京の条件 2010」</b> Kishii Daisuke Project THE TOKYO CONDITION 2010</p> <p>9月中旬～11月下旬 [WORKS] 10/17, 11/6 「総会」</p> <p>Sep.-Nov. WORKS Oct.17, Nov.6 General Meeting</p>		
	<p><b>Insideout/Tokyo Project</b></p> <p>10/21～(火曜日定休) アーツ千代田3331内</p> <p>Oct.21- 3331 Arts Chiyoda</p>	<p><b>ぐるぐるヤーマープロジェクト</b> GuruGuru Ya-Mi-Project</p> <p>11/7, 10, 13 「きむらとしろうじんじんの野点」 谷中霊園こどもの広場</p> <p>11/7, 13 「谷中妄想ツアー!!茶会」谷中エリア界隈</p> <p>Nov.7,10,13 Kimura Toshiro Jinjin "Nodate" &amp; Nov.7,13 Yanaka Tour Tea Ceremony/Yanaka area</p>	<p><b>ひののんフィクション 2010</b> Hinonon/fiction 2010</p> <p>11/20, 21, 27, 28 (予定) 自然体験広場</p> <p>Nov. 20,21,27,28(temp.) Nature Experience Park</p>

## 東京文化発信プロジェクトとは

東京文化発信プロジェクトは、世界の主要都市と競い合える芸術文化の創造発信、芸術文化を通じた子供たちの育成、多様な地域の文化拠点の形成を目的として、東京都と東京都歴史文化財団が芸術文化団体、アートNPO等と協力して実施しているプロジェクトです。

演劇、音楽、伝統芸能、美術など様々な分野のイベント、まちなかで市民とアーティストが協働するアートプログラム、子供向けの体験型プログラムなどの事業を展開しています。

## 報道関係者からの問い合わせ先

東京文化発信プロジェクト広報事務局  
担当: 富樫/大原  
電話: 03-3818-2465  
FAX: 03-5689-0455  
E-mail: tokyobunka@prinfo.co.jp